

別紙様式2

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 能勢町
実践研究校名 東中学校

【公開授業】公開日：平成25年11月 1日

(教材・教科書名) New Crown 3 (单元名) L8 “English for Me”	(本時の指導の目標) ・ 予め自分の用意した主張を明確に述べるができる。 ・ 相手側の主張に対して反論・質問をすることができる。 ・ 相手側の質問に対して応答することができる。 以上の3点が討論会（ディベート）本番でできるよう支援を行う。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・ 質問をとっさに考えたり、即答したりできるよう1分間の質問と応答をする練習を導入で行った。
- ・ 自分のチームの主張と相手チームの主張を予めお互いに告知したので、生徒はその反論を予め準備することができた。
- ・ ディベートの流れ、未習の単語の意味を記したプリントを準備した。

(授業を終えた教員の感想)

- ・ 生徒は、どのように反論したら効果的か、どのような質問をしようか、など悩み・考え、とても真剣にチームメイトと議論をし、この時間を enjoy できていたのが印象的だった。
- ・ 生徒がたくさん英語を話していたのがよかった。

【研究協議会】

(テーマ) 三視点（教員・生徒・支援員） から見たディベート授業	(指導・助言者) 関西大学 外国語学部部長 教授 学校教育学博士 竹内 理 氏 能勢町教育委員会 遠藤 克俊
--	---

(研究協議で出された意見)

- ・ 支援員と教師が全体をまんべんなく見られるとよかった。グループワークの際に、特定のグループに、あまり教師も支援員も入ることがない時間があった。
- ・ マスクをして発表している生徒には、マスクを外すよう指示すべきだった。
- ・ ディベートのテーマとして、自分の学校のことを取り上げたのはよかった。

(まとめ)

1. 導入でペアでの質問と答えを1分間やり続ける活動は、次のディベートへのグループワークにつながった。また、相手の話の内容をレポートするのもよい練習になった。
2. 未習の単語を、今後より丁寧に発音の練習をしたり、文章をまとまりで区切って読む練習をしていく必要がある。
3. 授業の終わりに生徒に書かせている振り返りシート（T.T.S）の取り組みが非常によいので、続けていきたい。